

年	出来事
17年前	広島に超大型台風が直撃。新井良太7歳、名古屋防衛軍に保護される。永川勝浩10歳、実家を出され梵倉寺へ。
16年前	前年の台風により都市機能に壊滅的損害を出した広島に対し、西宮が広島自衛隊武装解除を条件に援助を決定。広島は軍事上西宮の保護下に入り、経済的依存も始まる。
15	
14年前	旧稲荷神社の改修が始まり、永川勝浩・梵英心13歳、前田の弟子として本格的な修行生活を開始。大沼幸二・帆足和幸16歳、所沢解放戦線結成。
13	
12年前	旧稲荷神社の改修が完了し、以後、道場と呼ばれるようになる。青木勇人24歳、所沢解放戦線へ加入。西宮の急な軍事成長を受け西宮名古屋間の政治緊張が高まり、紛争を経て冷戦状態に突入。以後小規模な戦闘が断続的に起こる。
11年前	森野将彦18歳、名古屋防衛軍へ志願入隊。前田智徳31歳、右脚を負傷し傭兵を廃業。山崎浩司16歳、前田の弟子として道場に入る。
10年前	文京横浜の国境を巡り紛争勃発。関東を二分する戦争に突入しかけるが、聖都神宮の仲裁により多摩川を国境ラインとして停戦合意。
09年前	大沼幸二21歳、所沢解放戦線を率いて軍事クーデターを敢行。翌年2月、政権を奪取。革命の伝播を危惧した各都市は治安を強化、この流れの中で広島に対する西宮の政治的干渉が強まる。
08年前	新井良太16歳、名古屋防衛軍へ志願入隊。
07年前	第二次多摩川紛争、国境は多摩川の北岸15キロへ移動。同年第三次多摩川紛争、国境は変わらず。
06年前	青木勇人30歳、所沢解放戦線を脱退し広島へ。
05年前	梵英心23歳、失踪。第四次多摩川紛争、聖都神宮の仲裁により多摩川兩岸5キロずつを緩衝地帯として停戦合意。
04年前	永川勝浩24歳、道場を離れ独立。倉義和30歳、梵倉寺住職を継ぐ。西宮・名古屋間で会談が行われ、双方歩み寄り。
03年前	青木勇人34歳、M.ブラウンにより広島自衛隊へ強制スカウトされる。蔵本英智29歳、名古屋防衛軍を退役。長谷川マサユキ射殺未遂事件。
02年前	第五次多摩川紛争、国境が現在の位置（多摩川南岸）に。
1	
ことし	文京軍が突如名古屋へ全面攻撃を開始。聖都神宮も文京軍による攻撃を受け、古代兵器超魔神グライシンガー奪取さる。これに対し聖都神宮は応戦の構え。